



No.106

市政の窓

通常開催

WHO(世界保健機関)から新型コロナウイルス感染症について事態が「パンデミック(世界的大流行)」と発表され、感染拡大防止対策や、さらに深刻な状況になる経済危機への対策に世界各国での対応は想像を絶するものがあります。

先月号の本欄で「新型コロナウイルス」の早期終息の想いを込めて執筆しましたが、3月初旬に小中学校の休業、中旬には各種イベントの中止や公共施設の休館を余儀なくされ、ご不便とご迷惑をお掛けしております。

国内外でスポーツ大会や大規模イベントが中止、延期となる中、プロ野球オープン戦や

大相撲春場所の無観客試合をテレビで拝見しましたが、高揚感や緊張感に乏しく、やはり間近で応援するファンの声が場内を盛り上げ、選手を奮起させ魅力と感動のある試合をつくるものだと痛感しました。

オリンピック聖火も日本に到着し、福島県の「Jヴィレッジ」からスタート。東京五輪の開催が日に日にクローズアップされていますが、通常開催が土俵際まで追い込まれており、中止または延期案も浮上してあります。いずれにしろ大きなリスクや犠牲を伴うものですが、一日も早い新型コロナウイルスの終息を願ってやみません。

本市でも「匝瑳市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、感染予防に取り組んでおりますが、感染症を予防するためには、皆

様一人ひとりの行動が非常に大切であります。手洗い、咳エチケットなどの対策をより一層徹底するとともに、体調の管理にも十分留意していただきますようお願いいたします。

観測史上最速で東京の桜開花が宣言されました。春分の日早朝に、庭先から今年初の鶯の鳴き声で目覚めるなど自然界では春の到来を告げております。毎年4月は、新年度にかける想いに胸膨らませ、花見酒でほろ酔い気分になり、プロ野球や選抜高等学校野球大会の球音に歓喜させられているところですが、本市にとっても新緑に向かうこの季節が一番美しく輝く時であります。自粛ムードの中ではありますが、せめて入学式だけでも例年通りの通常開催できますようお願いしております。

匝瑳市長 太田安規

飯高を歩く 黄門桜

匝瑳探訪 167

暖冬の影響で桜の開花が記録的に早まった今年には、「黄門桜」も例年より早く満開を迎えることでしょう。

黄門桜は1973(昭和48)年に市文化財に指定されましたが、きっかけはその由来が『飯高寺文書』に記されていたこ

とでした。水戸藩第2代藩主、徳川光圀は「水戸黄門」として知られ、藩主を退き隠居していた1695(元禄8)年1月、江戸から水戸への帰路、下総の諸社寺に参詣する中で、飯高寺にも立ち寄りました。

黄門桜に関する記録は1803(享和3)年に飯高檀林が水戸藩に差し出したもので、同藩と檀林とのつながりが記されています。

置したとされます。他の記録には、佐原から飯高まで約24km、沿道30か村に松と桜を植えさせ、そのお礼が村々に下されたとあります。しかし、それらは「現在(1966年時点)ではほとんど見当たらない」と記されています。

飯高寺の記録では元禄11年11月と同12年2月にも檀林を参詣したとされますが、いずれも伝承の域を出ないと考えられます。この頃、黄門は病にかかっていた、檀林では病氣平癒の祈禱を1700(元禄13)年11月に行っています。翌12月に黄門は亡くなりますが、没後50年ほどして家臣らによる逸話集がまとめられたとされます。

飯高寺の記録も黄門の没後100年ほど経って書かれたもので、他の記録(『佐原市史』)も逸話集などの影響があったのかも知れません。(市文化財審議会委員・依知川雅一)



昨年4月13日の黄門桜

その中で、1699(元禄12)年春、黄門の御意(お考え)で佐原(香取市)から檀林までの並木道に松と桜を植え、杭(立て札)を設

問秘書課広報広聴班

☎73・0080

文芸コーナー

短歌

依知川雅一 推薦

暖冬に白蓮の蕾脹らみて

日々眺めては咲くを待ちわぶ

伊藤 英子

移植せし梅の老木白色の

花を咲かせて夫と喜ぶ

川手 芳

冬枯れの狭き庭にも福寿草

友とながめて会話も弾む

鈴木 和子

忘れいし亡母の誕生日

亡母の手をとり歩く夢見つ

木下 昌子

読みにくき春の陽気は目まぐるし

催花雨ありて開花も近し

高橋百合子

遠見ゆる九十九里の海飯岡の

展望台に光点滅す

鈴木 知子

東にはかなく白い月みえて

西の空にはまだ陽のひかり

古谷由美子

川口城司 推薦

葱掘ると鍬の一撃に崩れたる

土の香りと湯気たつ今朝は

渡辺 重雄

昨秋に植えし佐助春立ちて

十ほど咲けり可憐なる花

石田 秀子

辛抱に慣れ慣れしわが靴下の

つま先の穴かがりてをりぬ

稲葉 雪子

俳句

高安せい子 推薦

故郷の漱石全集春隣

旅立ちへ淡きひかりを初桜

大川 宣子

白梅のひとひら攫ふそぞろ雨

草餅や練りこむ草の陽の匂ひ

椎名 晴江

一村を挙げて畦焼く日和かな

荒行僧百日の冬踏める指

安藤 建子

川口城司 推薦

遅蒔きの葉物勢ふ二月尽

ストールを忘れるほどの春うらら

伊藤 定子

いちはやく咲きぬ緋色の木瓜の花

川柳

須貝 玉枝

川柳で和気あいあいのお友達

友達の黻笑えない私です

沖 舟二

夢枕まるで天使の幼な友

お友達声の大きい人が好き

椿 謹二

茶のみ友口に出すのは医者通い

車やめスマホを友にひきこもり

江波戸京子

友の声今を語りて花盛り

風強く今日も朝寝の四畳半

岡田けい子

川口城司 推薦

佐久間美智子

春日 政彦

力作募集中

あて先：匝瑳市秘書課広報広聴班 〒289-1219 匝瑳市八日市場ハ793番地2
TEL 0473-0080 FAX 0472-11114

図書館だより

図書館ホームページはコチラ
<https://www.library.sosa.chiba.jp>



● 休館日…毎週月曜日 ● 祝日開館日…29日(水) 17時まで
問 八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

大型絵本あります

図書館には縦が50cmを越えるような大きい絵本があります。本のリストを用意していますので、カウンターでお尋ねください。読み聞かせの会などで、ご利用いただけます。

おはなし会においでください

おはなし会の対象は、小学校3年生くらいまでの幼児・児童です(参加無料)。参加者には、出席カードを渡しており、5回目と10回目に、“お楽しみ”があります(八日市場・のさか両館共通)。

「子ども読書の日」

子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、4月23日は「子ども読書の日」と定められています。ご家庭でも、お子さんと一緒に読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。

4月の「おはなし会」

★八日市場図書館
毎週土曜日14時から約30分間
★のさか図書館
第4土曜日10時30分から約30分間

おすすめの本

『ともだちや』
内田麟太郎/作 降矢なな/絵 偕成社

森一番のさびしんぼうのキツネは、1時間100円で友だちになる「ともだちや」を始めました。キツネに友だちはできるのでしょうか？

『わゴムはどのくらい伸びるかしら?』
マイク・サーラー/文 ジェリー・ジョイナー/絵 ほるぷ出版

坊やが輪ゴムはどれくらい伸びるか試してみると……部屋から外へ、バスで、車で、飛行機で、どんどん、どんどん伸びていきます。 ※2冊とも八日市場・のさか両館で、大型絵本も所蔵しています。